

長坂
NAGASAKA

真護
Mago

ECO

meets

ART

2022
06/10

06/18

開場時間

09:00-17:00
※10日のみ15時頃から

三ツ山 一志

MITSUYAMA

Kazushi

三ツ山一志 《不用の用》 2019-2020 (Photo : Ujin Matsuo)

会場

横浜市市民協働推進センター スペースA・B (横浜市役所1階)
(横浜市中区本町6-50-10)

入場料

無料

お問合せ先

横浜市資源循環局3R推進課

TEL: 045-671-3593 FAX: 045-550-3510

メール: sj-3rsuishin@city.yokohama.jp

横浜市資源循環局では、市民の皆さまにプラスチック問題の現状を伝え、その解決に向けて1人ひとりに求められる行動を知っていただき、ワンウェイプラスチック削減に向けた具体的な行動に移していただくことを目的に、「プラごみ削減キャンペーン」を実施しています。

そのキャンペーンの一環として、廃棄物やプラスチック問題等をテーマにしたアート作品展を企画しました。普段環境問題にあまり関心のない方にもぜひご覧いただきたいです。

長坂 真護

NAGASAKA Mago



三ツ山 一志

MITSUYAMA Kazushi



MAGO CREATION株式会社 代表取締役美術家
MAGO Art & Study Institute Founder
1984年生まれ。

2009年、自ら経営する会社が倒産し路上の画家に。
2017年6月“世界最大級の電子機器の墓場”と言われるガーナのスラム街“アグボグブロシー”を訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会う。
アートの力を使って、“我々先進国の豊かな生活は、このスラム街の人々の犠牲のもとに成り立っているという真実を先進国に伝えることを決意。

「サステナブル・キャピタリズム」を提唱し、これまでに1000個以上のガスマスクをガーナに届け、2018年にスラム街初の私立学校『MAGO Art And Study』、2019年8月にはミュージアムを設立。以降、抜本的な問題解決を目指すため、現地に廃棄物処理のリサイクル工場建設を目指すほか、環境を汚染しない農業などの事業をスラム街の人々とともに展開すべく土地取得を目指すなど、美術家としての活動とともに精力的に活動している。

1953年神奈川県生まれ。1976年東海大学教養学部芸術学科卒業。横浜美術館副館長、横浜市民ギャラリーあざみ野館長、横浜市民ギャラリー館長を歴任し、2019年退職。2019年より黄金町AIRに参加。同年、アートの活動を通して子どもたちの自立心を養う場として「子どもの育ちのためのアートらぼ」を設立。ライフワークとして、造形活動が子どもの心身の発達にどのように生かされるのかについて研究を行っている。黄金町でのAIR参加で見つけた風景を観察し、主に木を素材とした彫刻作品を制作している。

6/18

ワークショップのお知らせ

事前申込不要・無料

場所：横浜市市民協働推進センタースペースA・B（横浜市役所1階）

リサイクルタイルのオブジェ作り

定員：各回10名

廃棄されてしまうタイルたちを使って木製のベース（土台）に自由に貼っていくワークショップです！

- ① 10:00～11:00
- ② 11:30～12:30
- ③ 14:00～15:00
- ④ 15:30～16:30

講師：中村ジュンコ

(モザイクタイルアーティスト)



どうぶつお面をつくろう！

定員：
幼児と保護者50組

色画用紙で好きなどうぶつのお顔を作ります。それをかぶってどうぶつになりきろう！

通りすぎり大歓迎！
(時間設定はありません)



講師：三ツ山一志



横浜市市民協働推進センター
スペースA・B（横浜市役所1階）

主催：横浜市資源循環局3R推進課

TEL：045-671-3593

FAX：045-550-3510

メール：sj-3rsuishin@city.yokohama.jp